



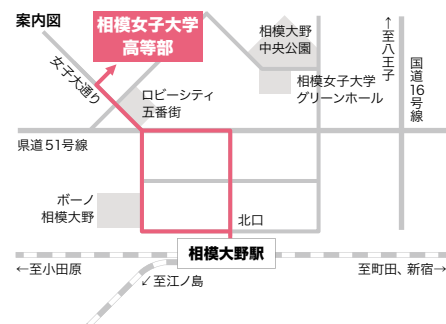
相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

TEL. 042-742-1442 | FAX. 042-742-1441

<https://www.sagami-wu.ac.jp/chukou>



学校説明会

10/24[土] 14:00-15:30

11/28[土] 14:00-15:30

12/5[土] 14:00-15:30

*要予約(公式サイト「入試情報」ページにて)

終了後、個別相談も行ないます

入試個別相談会

12/7[月] 16:00-19:00

12/8[火] 16:00-19:00

12/9[水] 16:00-19:00

*要予約(公式サイト「入試情報」ページにて)

SAGAMI
Girls
令和3年度入学 学校案内
School Guide 2021



相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

はじめよう、未来。
見つけよう、私。

変動する時代の中で、 「私の未来」を発見し、 思い描く道を歩き始めるために

これから始もうとする高校生活。
勉強、部活動、学校行事、自主的な活動……
それぞれに全力で取り組むことで、
まだ気づけていない自分の可能性を発見してほしい。
変わりゆく社会に対応できる指針を手にしてほしい。
そのための環境を準備し、寄り添いながら
未来を探るあなたの大切な3年間で全力でサポートします。
ようこそ、相模女子大学高等部へ。

建学の精神を誇りに

高等部校長
原野 聡美



20世紀最高の物理学者とも評されるアインシュタイン、日本人初のノーベル賞受賞者湯川秀樹。このふたりは、平和運動に積極的に取り組んだことでも知られています。それは、科学の発展は平和のためにこそ利用されなければならない、との強い思いからでした。

今、AI（人工知能）の急速な進展が、私たちの生活を大きく変えようとしています。こんなときだからこそ、あらためて私たちは自己の生き方をしっかりと考える必要があるのではないのでしょうか。AIシステムに価値観や常識を設定するのは、やはり人間だからです。

相模女子大学高等部は、建学の精神「高潔善美～固き心を以てやさしき行いをせよ～」を誇りに、持続可能で平和な社会の実現に寄与する女性の育成に邁進します。



百年桜
樹齢100年とも伝えられる名物桜。幹の周囲が5メートル以上ある美しい巨木です。

本校舎
中世ヨーロッパのロマネスク建築を思わせる、周囲の自然とも調和したデザイン。伝統校としての気品を漂わせています。

教室
木目調で統一された、明るく広々とした教室。電子黒板、タブレット端末やWi-FiなどICT環境も整っています。全室、冷暖房完備。

図書室
開放的な空間に、約3万5千冊の幅広い分野の蔵書が並んでいます。こちらの他、大学附属図書館も利用可能です。

図書室棟4Fホール
約400名を収容できる多目的空間。学年集会や部活動の発表などさまざまな行事で使用しています。

和室
52畳の本格的和室では、茶道の授業が行われます。床の間には掛け軸や季節の生花が飾られた、落ち着いた空間です。

陶芸室
美術の授業では陶芸にも取り組みます。ろくろを使って制作した作品を、教員が大型窯でいねいに焼き上げます。

ALセンター
自習室となっており、放課後には卒業生による学生チューターが生徒の学習をサポートします。勉強や学校生活についての質問も可能です。また、授業や放課後補習でも使用します。

幼稚部(認定こども園)
絵本の読み聞かせや手遊びなど、高等部生徒が幼児教育を体験する機会も。

グラウンド・テニスコート
体育の授業はもちろん、サッカー部やソフトボール部、ソフトテニス部の部活で使われます。

3号館
文具店や本屋などの売店があり、憩いのスペースとなっています。

大学グラウンド
中高の体育祭や、学園祭である「相生祭」なども開催されます。

イチョウ並木
正門から入ると真正面に見える並木道。秋には美しい黄金色に染まります。

第2・第3校舎
受験棟として、3年生が主に生活する場となっています。

桜並木
約200メートルに渡って桜が並んでおり、春の開花時は壮観です。

マーガレットホール
さまざまな催しが行われるホールです。自然光が溢れるガラス張りのカフェテリア(食堂)、ティーラウンジと売店が2階に。

ビオトープ
暖かい季節には、カルガモやカメが日向ぼっこをしていることも。

正門
24時間体制で警備員が常駐、学園全体の安全を見守っています。

茜館(旧第一本部棟)・フランス庭園
茜館は相模原市の登録文化財として、フランス庭園は同市の登録名勝として保存されています。

東門
朝の登校は、こちらの門から。

四季を感じる、 緑豊かなキャンパス

正門から一歩足を踏み入ると広がる、緑豊かな環境。相模女子大学が擁する幼稚部から大学院までの学舎が点在するこのキャンパスには、ゆったりと穏やかな時間が流れています。東京ドーム4つ分の広大な敷地に、樹齢70年を超える銀杏の並木や200メートルに渡る桜並木、ビオトープ、学習用の農園や稲田など。多くの野鳥も生息しており、保護区に指定されています。また、グラウンドや芝生の広場など、思いきり身体を動かせるスペースや施設も充実しています。

「自分とは?」「私の未来は?」を
安心して見つけられる場所、
生き生きと活動できる環境がここに 있습니다



自分を知って夢を育み、 目指す未来へと向かう そのために必要な 「確かな学力」を身につける

知識を身につけるだけでなく、
好奇心をもって自分なりに発想し、行動する。
仲間と意見を交わし、社会との関わりも広げていける……
その総合力こそが「確かな学力」だと考えています。
ここでなら、誰もが必ずそれを身につけられます!

創立120周年を迎えた相模女子大学を中心とする総合学園の
広々とした環境の中、高等部もまた女子校としての歴史を重ねてき
ました。しかし、「理想の女性像」という枠に生徒をはめたいとは考
えません。女子校ならではの教育環境を生かしつつ、一人ひとりが
自分を知り、かけがえない未来を模索できる。そんな学校生活を、
生徒と教師が共に目指します。

コミュニケーションを大切に、のびのびと切磋琢磨できる

学業への地道な取り組みによって知識を身につけるだけではあり
ません。互いに認め合いながら協力してアイデアを生み出し、努力
と工夫で形にしていく……コツコツと自分の歩幅で目標に向かい邁
進することも、異なる文化や価値観に触れて視野を広げる機会を持
つことも、教育において重要と考えます。

生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを重視するのも特徴
のひとつ。お互いを励まし合いながらそれぞれに進んでいく姿を応
援します。誰もが安心できる場所、生き生きと活動できる環境として
の相模女子大学高等部を、引き続き守っていきたいと考えています。



“サガジョらしさ”
は
さまざまに

協力して
アイデアを生み出す

みんなで取り組み、
個性を活かして創りあげる
相生祭、体育祭、
球技大会など

異なる価値観を大切に、
互いを尊重し交流する

さまざまな課外活動、部活動、
ボランティア活動など

地道に取り組む

日々の学習や活動を
積み重ねた上での
各種検定・コンテストへの
参加など

5つの柱で支える 相模女子の教育

豊かで奥行きのある教育を実現するために相模女子が
築き上げてきた具体的な方策。生徒の一人ひとりが
主役として取り組めるコースやプログラムが待っています。



コースの選択

1

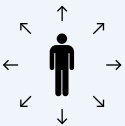
自分らしさを求めて 選択できる2つのコース

将来の夢や希望に向かってすでに進路を決めつつある、
あるいは、これからの高校生活の中で進む道を見つきたい……。
それぞれの目標やイメージに合わせたコース選択が可能です。

目標に向かって、 安心してじっくり取り組みたい

進学コース

自分らしく充実した学校生活を優先し、自信を持って
大学進学に臨みたい生徒に適したコースです。多種多
様な大学入試形態の中から自分に合ったものを選択
し、じっくりと向き合っていきます。



専門性とバラエティに富んだ科目・講座

一般選択科目の例

- ・小論文
課題文の読み方、文章の書き方や志望理由書の作成まで。基礎から文章力
を養い、総合型選抜、学校推薦型選抜に備えます。
- ・フードデザイン
栄養素や食品の成分を調理科学の視点から学習。調理実習ではカロリー
や原価も自分で考えます。

土曜講座の例

- ・幼児教育進学対策
保育士・幼稚園教諭として必要な技能や基礎知識を学び、実技や面接試験
にも対応できる力も身につけます。
- ・Let's Read
英文の多読と英語でのコミュニケーション能力向上を図る授業。さまざ
まな難易度の本や文章から、自分の英語力に合った本や文章を選びます。

夏期講習の例

- ・志望理由書作成講座
総合型選抜や学校推薦型選抜を目指す生徒が対象。指導実績のある外部
講師が講座と添削を担当します。

進学コースと特進コース、異なるポイント

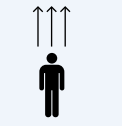
	進学コース	特進コース
相模女子大学への推薦、確約併願	○	○
指定校推薦	○	×
学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜	○	○
海外研修、ターム留学等	○	○
部活動	○	○
7時間目授業(週2日)	×	◎
少人数習熟度別授業	×	○
一般選択科目の授業	○	×
夏期・冬期・春期講習	○	◎
勉強合宿	△	◎

◎: 必修 ○: 希望者が対象 △: 参加や希望に際して条件や基準あり ×: なし
*実施学年は、内容によって異なります。

自らの進路を切り拓くために 常に挑戦したい

特進コース

変わりゆく大学入試に対応した学力を身につけ、自分
の可能性を信じて国公立や難関私立の大学に挑戦し
たい生徒に適したコースです。より高い目標に向か
い、全力で突き進みましょう。



学力伸長に邁進できる、特進コース向けの特別講座

受験対策用プログラムの例

- ・特進1年土曜講座
特別講義や調べ学習を通して、さまざまな学問分野への関心を高め、日本
から世界へと視野を広げます。
- ・勉強合宿
夏・春休みに実施。自然豊かな環境で集中的に勉強することで、苦手科目
の克服と基礎学力の定着を図ります。1年次は全員参加、2・3年次は希望
者が対象です。
- ・夏期・冬期・春期講習
1・2年次は全員参加。習熟度、文理コース別など学年や時期に応じたさま
ざまな形態で行なう少人数体制での講習です。自分自身の課題を見つけ、
それにじっくりと向き合うきっかけを作ります。(p.9参照)
- ・学内予備校
予備校での指導経験も豊富な「受験のプロ」による講座です。普段の授業
とはまた違う雰囲気の中、大学入学共通テストや難関大学の一般選抜対
策を行います。対象は、主に3年生。(p.9参照)



「意欲」を刺激しつつ学力を伸ばす、 確かなサポート体制

生徒の適性や目標に合わせて選ぶことができる、
さまざまな学習サポートを行なっています。
日々の授業を補完することはもちろん、多様化する大学受験への対応も
視野に入れたサポート体制を整えています。

各自に合った放課後の学び

・放課後補習

授業内容についての補習はもちろんのこと、志望校のレベルや受験科目、さまざまな受験方式にも配慮した約20の講座の中から各自が自由に選択。少人数の講座が多く、密度の高いやり取りと個別指導を可能にしています。



受験対策に取り組む土曜日

・土曜講座

進学コース3年生の希望者を対象にした、大学受験に必要な学力を身につけるための講座です。教科ごとに設定された講座の中から各自が自由に選択。「幼児教育進学対策」や「Let's Read」が人気です。(p.8参照)



仲間と一緒に集中して取り組む

・夏期・冬期・春期講習

夏期・冬期・春期の長期休業中に実施する、主要5教科に焦点を絞った集中講習です。基本に立ち返っての苦手科目の克服から受験対策としての入試問題チャレンジまで。仲間とともに切磋琢磨します。(p.8参照)

細かい相談にのってくれる先輩の存在

・チューター制度

本校卒業生の大学生チューターが、自習室での質問や相談に応じます。定期試験や入試に対する質問はもちろん、面接練習や小論文の添削、また進路についての相談などさまざまなニーズに対応しています。



「受験のプロ」からの実践的サポート

・学内予備校

3年生を対象に、予備校での指導経験が豊富な「受験のプロ」による講座を実施します。普段の授業とは違う環境に身をおいての入試対策が可能です。(p.8参照)



幼稚部*から大学院までが揃う 「総合学園」ならではの特別プログラム

年齢を超えた交流を通して、社会生活に必要な想像力、
発想力を育みます。これらの体験が進路選択の判断材料のひとつとなった、
と語る先輩も少なくありません。

* 認定こども園 相模女子大学幼稚部

大学の講義を進路選択のヒントに

・サガジヨの学び講座

相模女子大学の教授陣による講義を体験できる連携プログラムで、複数ある中から興味を持てる講義を選択して受講します。こうした経験を卒業後の進路を考えるための一助としてもらいたい。そんな狙いもある取り組みです。



学問の現場を訪ねて、大学生生活を覗き見る

・研究室訪問

大学の研究室を訪問して、専門分野や卒業論文のテーマなどについて詳しく話を聞ける機会です。学問の現場に身を置いてみることで、大学生生活の一端をイメージできます。



園児とともに過ごすという貴重な経験

・預かり保育ボランティア

保育士や幼稚園教諭を目指す生徒を中心に、放課後の時間を利用して預かり保育のお手伝いを行なっています。幼稚園教諭の指導のもと、教育現場を体験できる貴重な機会。繰り返し参加することで、園児たちの成長に立ち会うこともできます。



大学生と一緒に地域へ貢献

・田植え体験

福島県本宮市を訪問し、田植えを体験する貴重なプログラムです。相模女子大学の学生とともに参加し、日本の文化に触れながら、田植えを通じて地域に貢献します。



日本文化体験と異文化交流、その両立で視野を広げる

将来の夢や進路を模索する高校生活は、

さまざまな文化や価値観に触れることで幅広い視野を身につける重要な場。

自分たちが暮らす国や地域の伝統文化を知り、

異文化との交流によって多様性を知ること、グローバル社会に対応できる力を育みます。

また、コミュニケーションツールとしての英語を

集中して身につけるプログラムも用意しています。

日本の伝統文化を知る

・茶道、書道、陶芸

「茶道」の授業は、専用の和室で1年生全員が履修。お点前を通して、礼節やおもてなしの心を学びます。中国から伝わり日本の芸術文化として発展してきた「書道」では、楷書だけでなく草書、行書を併せて学び、作品の歴史的背景などの見識も深めます。自由な感性で土と対峙する「陶芸」では、生徒が手掛けた作品を校内に所有する大きな窯でていねいに焼き上げます。



異文化に触れて多様性を知る

・海外留学生受け入れ制度

国際交流団体を通じて留学生を受け入れています。異なる国で育った生徒たちが毎日の学校生活をともにすることで、互いの習慣や文化への理解を深めます。



・ニュージーランド修学旅行

のどかな自然大国ニュージーランドは、先住民マオリとヨーロッパの文化を融合・共生させてきた多様性の国でもあります。ファームステイや現地校との交流を通して、異文化に触れる4泊6日の修学旅行。2年生全員が対象です。

・オーストラリア研修

夏期休業中に、姉妹校である「ブレンディビル・カトリックカレッジ」に通う15日間のプログラム(対象は希望者)。同校生徒宅にホームステイしながら、学校生活を通して生きた英語や雄大な自然を体験します。4週間の学校派遣制度もあり。



・カナダ研修

カナダ西部の自然豊かな街ケロウナで、15日間のホームステイ。英語を外国語として学習する人たちを対象とした集中英語プログラム(Integrated English Program)に参加します(対象は希望者)。

・ニュージーランドターム(学期)留学

1月下旬から3月末の9週間(1学期間)、ホームステイしながら現地の高校に通います。現地は夏。課外活動も含め、多様性を尊重した学校生活を体験します(対象は希望者)。



海外研修を経て、
将来の志望を決めることが
できました



高等部3年
特進コース
堀江さん

4週間という長期の海外研修が魅力で、本校を志望しました。「ステイ先や現地に通う学校で、日本のことを知ってもらえたら」と、茶道、かるた、書道などについて英語で説明できるように準備してから、いざオーストラリアのパスへ。現地の提携校では、在校生であるバディと一緒に授業を受け、2週間を過ぎた頃から英語を聞き取ることが案に。スポーツ好きな私のバディは体育系を多く選択、一方、ホストファミリーの長男は得意の美術やコンピュータプログラミングを選択しており、「得意分野を存分に追求できる教育」が印象的でした。帰国後、教育系の大学へ進もうと決心。海外留学も目指して受験勉強に励んでいます。

誰かのためのアクションで、知らなかった自分に気づく

相模女子大学高等部では、生徒の自主的な課外活動を大切にしています。

どのようにして自分を社会に役立てられるかを考え、行動する。

社会に役立つ喜びを体感する。また、自主的に考えて誰かをサポートする。

楽しみながら新しい発想でおもてなしする……。

これからの人生を豊かにする経験でもあり、知らなかった自分の志向、可能性に

気づくことができる貴重な機会です。

「自分を客観視できたことが進路選択にも役立った!」という生徒も少なくありません。

自分で選んで、体感する社会参加

・マーガレットチャレンジ

未来を豊かにするためのSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえて、社会に参加できる活動(「こども食堂」「裁判傍聴」「認定こども園預かり保育」「カレン語絵本制作活動」など)や地域企業との取り組み(「ボンバドウル レシピコンテスト」「キリンスクールチャレンジ」など)など幅広い選択肢から各自ひとつを選択。1年生全員が取り組み、学年末には成果発表会を実施します。



学園祭を盛り上げたい!

・相生祭実行委員

年間行事の中でも大きな存在が、学園祭である「相生祭」。その実行委員会も自主性を重視して運営されます。生徒の要望に耳を傾けたり、学園全体の会議に参加したり、さまざまな角度から相生祭の運営を全力でサポート。昨年は、実行委員の士気を高め、来場者をより温かく迎えるために揃いのパーカーを作成して当日に臨みました。



学生ならではのホスピタリティを

・おもてなしスタッフ

「サガジョの魅力を知ってもらいたい!」と集まった生徒ボランティアです。学校説明会や入試などにおいて、会場設営や受付、進行などを担当します。教師たちが見せたい学校像の先を行く、生徒目線の新しい発想が光ります。



好きなことに取り組み、
成果を発表する
「マーガレット・チャレンジ」



高等部2年
特進コース
青木さん

興味あるテーマを自分で探して活動に参加し、その結果を発表する「マーガレット・チャレンジ」。私は持続可能な社会作りに興味を持ち、「キリン・スクール・チャレンジ」に参加しました。レインフォレスト・アライアンス認証や農園認証制度、森林伐採やそこで生じている児童労働問題などについて、全国から集まった学生たちと一緒に学び、解決法を模索しディスカッション。とても有意義な経験となりました。特に、森林伐採による自然破壊は建築家を志望する私にとって興味深く、これからも引き続きリサーチしていきたいテーマです。相模女子は好きなことに集中して頑張れる環境だと思います。

“熱中”を見つけない！ 充実の学校生活

熱中できる何かに出合えるかどうか。
充実の高校生活を大きく左右する要素は、ここにもあります。
それぞれの役割で輝ける多彩な行事、部活動などをご紹介します。



年間行事

自分で考え、 もにつくり上げる楽しさ

1年を通じて、生徒自らが準備・運営・振り返りを行う学校行事が数々あります。
主体的に関わる姿勢を学びながら、仲間とともにつくる楽しさを実感してほしいと考えます。

5月

- ・球技大会
- ・生徒総会
- ・定期試験1



4月

- ・始業式
- ・入学式
- ・宿泊オリエンテーション(1年生)



6月 7月 8月

- ・生徒会役員選挙
- ・修学旅行(2年生)
- ・定期試験2
- ・終業式
- ・夏期講習
- ・海外研修(希望者)
- ・特進勉強合宿



9月

- ・始業式
- ・体育祭



10月 11月

- ・創立記念日(10月18日)
- ・定期試験3
- ・相生祭



1月 2月

- ・始業式
- ・英単語コンテスト
- ・本大学説明会



3月

- ・卒業式
- ・学年末試験
- ・修了式
- ・特進勉強合宿(1年生)
- ・スキー教室(希望者)
- ・春期講習



12月

- ・定期試験4(3年生は卒業試験)
- ・漢字コンテスト
- ・冬期講習
- ・終業式



部活動

仲間と過ごす、 かけがえのない時間

心身ともに打ち込める部活動。
仲間と切磋琢磨しながら過ごす放課後は、
授業とは違ったアングルから光を与え、
高校生活をより実りあるものにしてくれる
かけがえのない時間となるはず。
あなたの「やりたい!」がきつと見つかります。



[運動部]

- ・**アーチェリー部** | 相模原インドア大会出場
- ・**弓道部** | 県私学大会 個人4位
- ・**サッカー部** | 県高校リーグ1部所属
- ・**水泳部** | 全国大会出場
- ・**スキー部** | 全国大会出場
- ・**ソフトテニス部** | 県大会団体 ベスト8
- ・**ソフトボール部** | 神奈川県民体育大会 ベスト8
- ・**体操部** | 全国大会出場
- ・**チアリーディング部** | 全国高等学校選手権大会出場
- ・**テニス部** | 各種大会出場
- ・**バスケットボール部** | 関東大会出場
- ・**バドミントン部** | 北相東大会 ベスト8
- ・**バントワーリング部** | 全国大会 金賞
- ・**バレーボール部** | 県大会 ベスト32
- ・**モダンダンス部** | 県大会 4位
- ・**陸上競技部** | 県大会出場

[文化部]

- ・ESS部 | 学園連携イベント参加
- ・演劇部 | 北相大会 優秀賞
- ・科学部 | キッズ・サマーフェスティバル参加
- ・合唱部 | ヴォーカルアンサンブルコンテスト 銅賞
- ・華道部 | 草月流免状取得・相生祭作品展示
- ・軽音楽部 | 全国大会出場
- ・弦楽部 | 各種コンサート参加
- ・茶道部 | 裏千家免許取得・お茶会
- ・写真部 | JPS(日本写真家協会)展 入選
- ・JRC部 | 各種ボランティア参加
- ・書道部 | 全国学生書写書道展 特別賞
- ・吹奏楽部 | 東日本大会 金賞
- ・箏曲部 | 福祉施設訪問演奏
- ・調理部 | ポンパドウルレシピコンテスト 商品化
- ・美術部 | 全日本学生美術展 特選、佳作
- ・放送部 | 県大会 3部門奨励賞
- ・漫画研究部 | 部誌発行・相生祭作品展示
- ・かるた同好会 | 県団体大会 優勝

*2016年～2019年度の成績

制服

かわいい!と誇れるブレザースタイル

相模女子大学高等部の制服は、伝統的なブレザースタイル。
スカートは、正装用でジャケットと揃いの紺色無地、夏用のチェック柄、
通年用のチェック柄の3種類が用意されています。

正装用の布地はさまざまな紺色の糸を紡いで織られており、品のある装いに。
また、紺色のカーディガンやベスト（紺・白）があり、
気候に合わせたコーディネートが可能です。

校章は、マーガレットの紋様。

花言葉である「希望に満ち溢れる清楚な乙女心」をいつも胸に飾り、
大切に育てていきたいと思いますという想いが込められています。



生徒の要望を受け、
生徒会がリュックの導入を手がけました。
また、生徒会では夏服にポロシャツを
取り入れる準備もしています。



1日のスケジュール

充実の毎日を積み重ねたい

高校生活の基本的な1日の流れです。
土曜日は、選択コースや学年によって
多少異なります。



[月～金曜日]

～ 8:25	登校
8:25 ～ 8:30	SHR
8:40 ～ 9:30	1 時限
9:40 ～ 10:30	2 時限
10:40 ～ 11:30	3 時限
11:40 ～ 12:30	4 時限
12:30 ～ 13:10	昼休み
13:10 ～ 14:00	5 時限
14:10 ～ 15:00	6 時限
15:10 ～ 15:30	SHR、掃除
15:30 ～	放課後、部活動など
19:00	最終下校

● 特進コースは、火・木に7時限あり(15:10~16:00)

[土曜日]

～ 8:25	登校
8:25 ～ 8:30	SHR
8:40 ～ 9:30	1 時限
9:40 ～ 10:30	2 時限
10:40 ～ 11:30	3 時限
11:30 ～ 11:35	SHR
11:35 ～	放課後、部活動など
19:00	最終下校

- 進学コース3年生は、土曜講座につきSHRなし
(8:40～9:55 1時限、10:10～11:25 2時限)
- 特進コース1年生は、3時限目は10:40～12:10

進路指導

自己発見から始まる進路選択を ていねいにサポート

本当に進みたい道を見極めるためには、得意科目や学力レベルとともに、まずは「自分を知る」こと。必要に応じて教師陣が細かくフォローし、自己発見から進路選択、そして進路実現へと導きます。



進路実現

夢に向かって、具体的課題を解決していく

見つけた夢を叶えるために進むべき道＝進路を、頼りになる教師たちとともに詰めていきます。克服すべき課題をひとつひとつあぶり出し、必要な実践的アプローチを共有しながら受験に向けて臨みます。

3

評価

結果

行動

目標

進路選択

「こんな私だから、進むべき道はこれ!」を絞込む

「マーガレットチャレンジ」も含めた学校生活での経験を、担任や部活動顧問とのコミュニケーションによって自分の進路へと落とし込むサポートをします。視野を広げるための実践的・具体的な取り組みを必要に応じて選ぶことが可能です。

2

評価

結果

行動

目標

評価

結果

行動

目標

自己発見

「私ってこんな人、こうなりたい!」を知る

さまざまな経験を積むことからの自己発見をサポートします。全1年生が参加する「マーガレットチャレンジ」(p.12)は、学校以外の場に目を向けながら自分で考えて行動するボランティアプログラム。実は自己を発見する絶好の機会であり、これは進路決定にも深く関わっていくと考えます。自分はどういうにして問題解決を試みるのか、自分はどんなことで喜びや達成感を得られるのか……そんな自問からも将来目指すべき方向が明確になっていきます。

1

自己理解や進路選択を促す、さまざまなプログラム

・キャリアノート

1日単位で予定や学習状況などを記録するノートを配布、先を見据えて計画を立てたり、過去の記録を振り返ることで、自身を客観的に把握できる力を養います。努力の積み重ねを視覚化できることが自信にもつながります。



・キャリア講演会

さまざまな分野で活躍するプロフェッショナルに経験談やビジョンを伺い、社会への視野を広げます。

・受験体験座談会

卒業生による具体的な受験対策やアドバイスを少人数のグループで聞ける機会です。

・日赤救急法講習会(希望者)

主に医療系の進路を視野に入れた生徒が受講します。

・特進土曜講座(特進コース1年生)

大学や企業から講師を招いての特別講義です。将来の研究テーマを模索するきっかけに。

・土曜講座(進学コース3年生)

バリエーション豊かな講座の中から、自分の進路や興味に応じて選択して受講します。

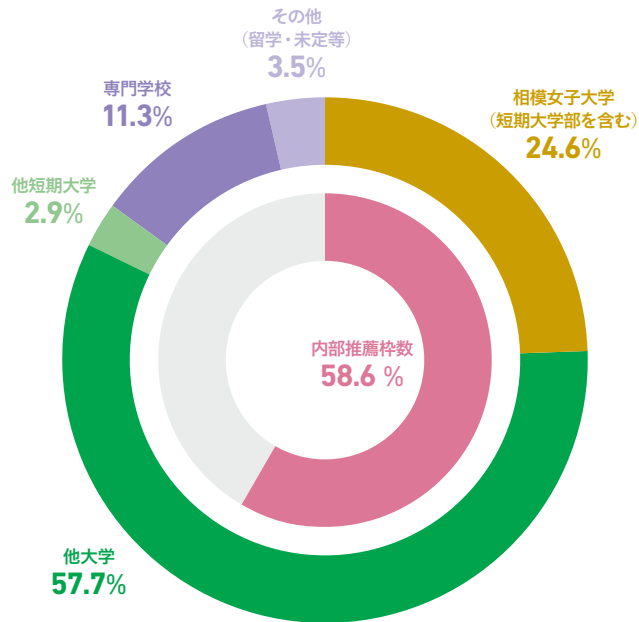
学園連携プログラム(p.10)、ボランティア活動(p.12)などもプログラムとして活用します。

進路実績

見つけた夢に向かって 新たな一歩を

進学比率

2019年度卒業生
345名



主な大学合格者数(2019年度実績)

国公立大学

東京電機大学	1名
東京海洋大学	1名
横浜市立大学	1名
宇都宮大学	1名
国立台湾師範大学	1名
麻布大学	6名
亜細亜大学	1名
桜美林大学	6名
大妻女子大学	4名
神奈川大学	11名
神奈川工科大学	4名

私立大学

相模女子大学	94名
慶應義塾大学	1名
学習院大学	1名
青山学院大学	3名
立教大学	1名
中央大学	6名
法政大学	4名
成蹊大学	6名
成城大学	8名
明治学院大学	6名
國學院大学	6名
日本大学	3名
東洋大学	1名
駒澤大学	1名
専修大学	9名
津田塾大学	1名
日本女子大学	10名
学習院女子大学	1名
北里大学	5名
杏林大学	2名
昭和大学	1名
東邦大学	2名
東京薬科大学	1名
日本獣医生命科学大学	1名
日本赤十字看護大学	1名
工学院大学	2名
関東学院大学	5名
共立女子大学	9名
国士舘大学	4名
産業能率大学	3名
実践女子大学	1名
昭和女子大学	7名
女子美術大学	1名
清泉女子大学	1名
大東文化大学	1名
拓殖大学	1名
玉川大学	5名
帝京大学	3名
東海大学	8名
東京家政大学	2名
東京経済大学	2名
東京工科大学	6名
東京女子体育大学	1名
東京造形大学	1名
東京農工大学	8名
東洋英和女学院大学	4名
日本体育大学	4名
フェリス女学院大学	5名
武蔵野大学	3名
多摩美術大学	2名
その他私立大学	81名

相模女子大学への内部推薦制度

推薦枠合格者数 95名
(短期大学部を含む)

〔内部推薦制度の枠数〕

学芸学部

日本語日本文学科	21名
英語文化コミュニケーション学科	19名
子ども教育学科	20名
メディア情報学科	11名
生活デザイン学科	7名

人間社会学部

社会マネジメント学科	19名
人間心理学科	19名

栄養科学部

健康栄養学科	13名
管理栄養学科	16名

短期大学部

食物栄養学科	19名
--------	-----

〔確約併願制度の枠数〕

他大学を第1希望、相模女子大学を第2希望とする場合に利用できます(成績等条件あり)

学芸学部	20名
人間社会学部	8名
栄養科学部	5名
短期大学部	5名

卒業生は語る

大学受験を念頭に 特進コースへ、 理系で念願を叶えて

東京薬科大学

生命科学部・大学院卒
金子さん



かわいい制服にも惹かれたことが本校志望のきっかけで、受験に向けたカリキュラムが充実していたことから特進コースへ。今でも思い出すのは春・夏の「勉強合宿」でしょうか。山梨の山奥で、昼は猛勉強に励み、お互いの得意科目を教えあったり、一転して夜はおしゃべりに夢中になったり。メリハリのある数日間に充実感がありました。塾に通うことなく勉強は学校のみ。おしゃれやメイクへの興味からコスメ開発を夢見て理系の大学へ。現在は化粧品メーカーで企画開発に携わっています。

勉強、部活、 英語スピーチ…… 今の自分の原点がある

成蹊大学

文学部英文科卒
田口さん



定期テストは学年10位以内、バドミントン部や英語スピーチコンテストにも全力投球! そんな欲張りな高校生活を進学コースで実現しました。困ったときに担任や部活顧問の先生によるアドバイスがすぐに受けられるという本校の環境は、とにかくありがたかったです。スピーチコンテストに際しても、ネイティブの先生による文章チェックや発音アドバイスのおかげもあり、納得のいく成果を得ることができました。大学でも英語を専攻、現在はキャビンアテンダントの道を歩んでいます。

美術に明け暮れた3年間、 楽しい!の気持ちが 芸大受験の原動力に

東京芸術大学

美術学部・大学院卒
今泉さん



美術系大学を志望していた私は、選択科目で美術Ⅲまで学べる進学コースへ。美術系予備校にも通い、部長を務めた美術部では油絵コンクールへの出品、校内の「百年桜」をテーマに撮った短編映画など楽しかった思い出ばかりのまさに美術三昧です。一浪しながらも粘り強く努力を続けて第一志望に合格することができたのは、美術の先生がデッサン指導などで助けてくださったり、同志と切磋琢磨できたから。大学院でさらに研究を進め、現在は高校で教えながら陶芸家としても活動しています。